

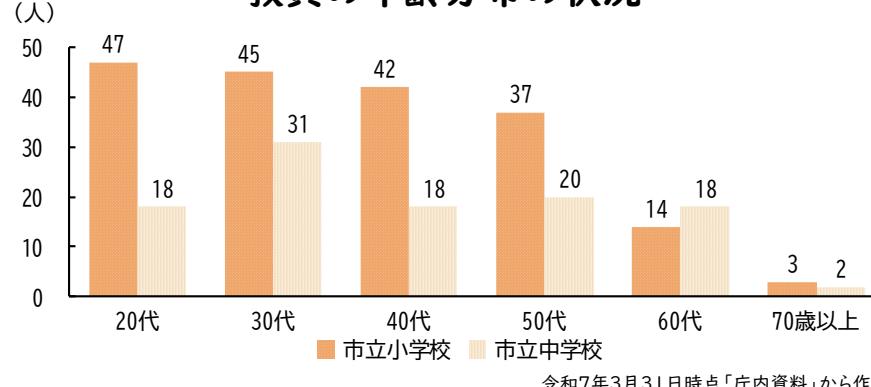
基本方針3

子どもたちの学びを支える
教職員・学校の力の強化

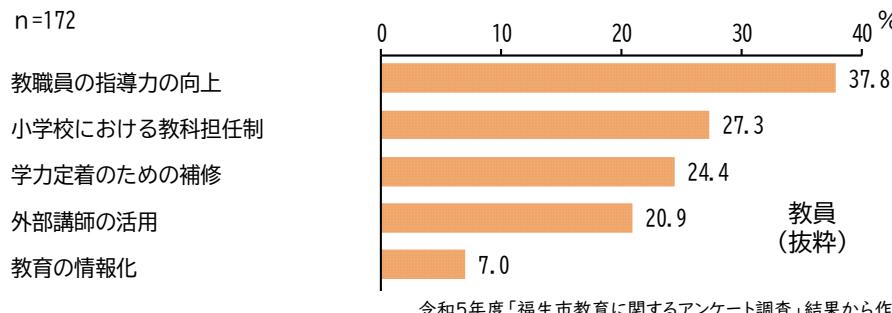


現状と課題

教員の年齢分布の状況



公立学校教育で重点的に取組む必要があるもの

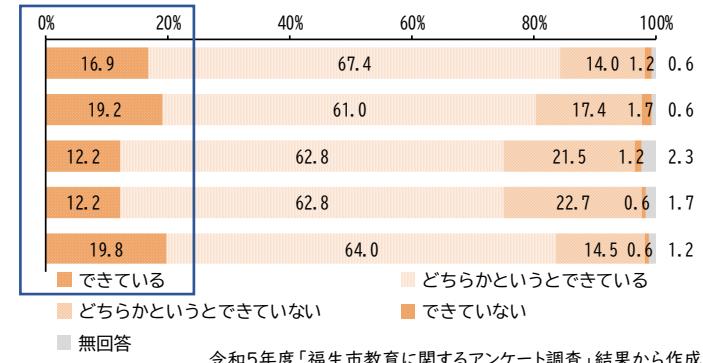


- 教員の年齢分布をみると、市立小学校では年齢が上がるにつれて教員数は減少していますが、市立中学校では30代が一番多く、他の年代はほぼ同数となっています。

教員の「主体的・対話的で深い学び」の実践状況

n=172

学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませる
資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている
それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている
多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている
学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫している



「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践内容・課題

主な自由意見
(抜粋)

主として取り組むための関心を高める
学習活動の設定
学習に向かうための
発問の工夫

自力解決の時間や
友達と考えを共有
する時間の確保

学習内容について
目標を設定し、自ら
考え、取り組む

ICTを活用し、他者の
考えを閲覧・コメント
する時間の確保

令和5年度「福生市教育に関するアンケート調査」結果から作成

- 『それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている』『多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている』の項目で、「できている」の割合が低く、子どもの「思考力・判断力・表現力等」を高めるためにも学校教育で充実すべき課題です。

強化のポイント

- 自ら学び続ける教員の育成
- キャリアに応じた資質・能力の向上と、教育管理職を担う人材の発掘

教員一人ひとりのキャリアに応じた資質・能力の向上



主な取組

●「自ら学び続ける教師」の育成

市教育委員会主催の研修会等において、学校で指導経験のある大学教授等を招聘するとともに、対象者に事前課題や演習などに取り組ませ、教員が主体的に研修を受講できるようにしていきます。

また、教務主任会や生活指導主任会を中心に、各種委員会との合同開催による教員の自主的・自発的な取組の推進、東京都教職員研修センター等が主催の研修への受講を推進していきます。



生活指導主任会

●外部機関における研修機会の提供

国や東京都教育委員会が主催する各種研修会の情報をお伝えします。

また、教職員に「教員研修生」、「教育研究員」、「東京教師道場」への推薦を積極的に進め、福生市以外の教員との交流を充実させた研修機会の提供に努めています。

東京都教職員
研修センター

●若手教員の授業力向上の取組

新規採用の教員を対象とした1年次（初任者）研修、2年次研修、3年次研修において、学習指導に関する研修を充実させ、若手教員の資質の向上を図ります。

指導主事による学習指導に関する研修を実施し、若手教員の実際の授業に対し指導・助言を行い、授業力の向上を図ります。



研修の様子

●指導主事による指導、助言

教育課程、学習指導、生徒指導、教材、学校の組織編制、その他学校教育の専門的事項について、校長及び教員に指導、助言を行っています。

好事例の共有等を通じて、若手教員の授業改善に向けた指導・助言や児童・生徒の生活指導など、学校教育全般に携わります。



指導主事による指導、助言



主な取組

● 管理職の学校マネジメント能力の向上

校長会、副校長会を毎月実施し、国、東京都等の最新の情報を共有するとともに、市の施策や児童・生徒への重点となる指導事項等について説明します。

また、校長研修会、副校長研修会を実施することで、校長・副校長の学校マネジメント能力の育成を図ります。



校長会

● 学校のリーダーを育成する取組

学校経営に意欲のある教員に、教育管理職に必要な「学校経営力」、「外部折衝力」、「人材育成力」、「教育者としての高い見識」を身に付させるため、「学校マネジメント講座」の受講を推奨しています。



● 服務事故根絶に向けた取組

「体罰根絶に向けた総合的な対策」や「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止対策」に基づき、教職員の服務事故根絶に向け取り組みます。

また、部活動の指導者にコンプライアンスと倫理規範に基づく言動を徹底し、体罰や不適切な行為のない部活動を推進します。

使命を全うする！
～教職員の服務に関するガイドライン～

子供たちのために 家族のために
自分のために

令和6年4月（改訂）
東京都教育委員会

教員としての第一歩を踏み出す皆さんへ
～服務の理解に向けて～

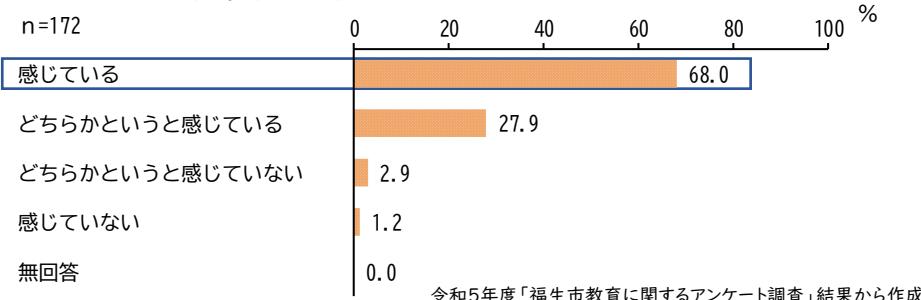
東京都教育委員会

指標

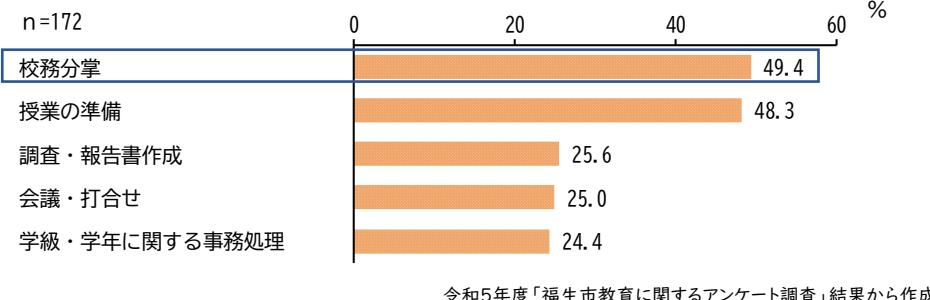
- ✓ 東京都教職員研修センター主催等の研修受講回数の増加
- ✓ 教育管理職を目指す教員の増加

現状と課題

教員の職務の忙しさについて

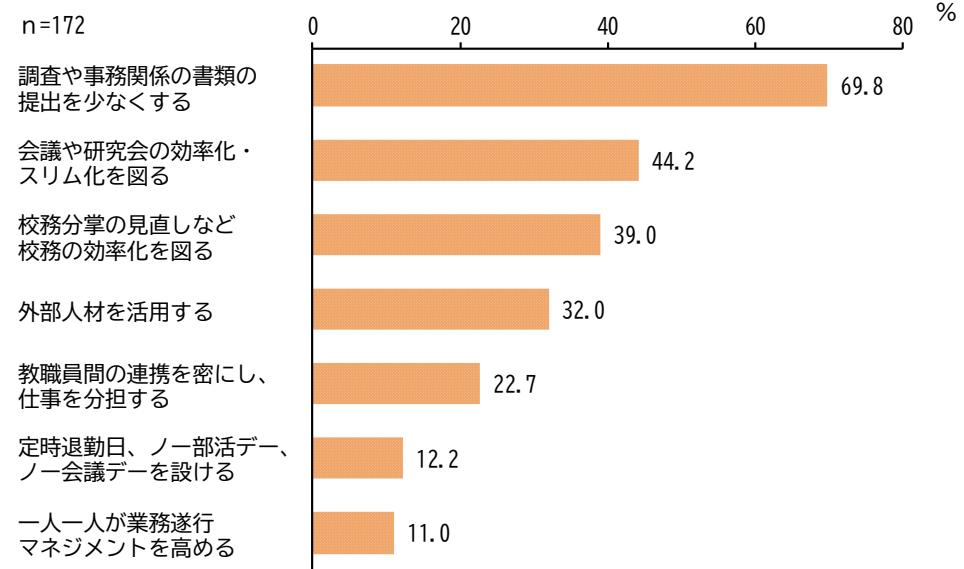


仕事をするうえで、授業を行う以外で、時間をかけている業務



- 教員の約7割が自身の職務が忙しいと感じています。また、仕事をするうえで、授業を行う以外で、時間をかけている業務は、「校務分掌」の割合が49.4%と最も高く、次いで「授業の準備」の割合が48.3%、「調査・報告書作成」の割合が25.6%となっています。

より良い教育活動を創出するために、必要な働き方改革



- より良い教育活動を創出するために、必要な働き方改革は、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が最も高くなっています。調査・事務の精査や校務の改善・効率化を図るとともに教員の業務の軽減や効率化に向け、新たな技術の活用を含め、各学校においてDXを一層推進していくことが必要です。

強化のポイント

- 教員のメンタルヘルス対策等の取組の推進
- 外部人材活用の推進など学校支援の一層の充実



主な取組

●教職員が働きやすい環境づくり

健康診断やストレスチェックを通して、教職員一人ひとりの健康状態を把握し、教職員が心身ともに健康で働く職場づくりを行います。

また、副校长を対象に「衛生推進者養成講習会」受講の義務付け・費用負担を行い、労働安全衛生管理体制の整備及び推進を図ります。

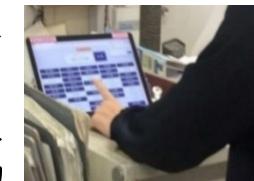


「中央労働災害防止協会」発行

●教職員の働き方改革の推進

勤務時間外の自動音声対応電話導入や夏季休業中の学校閉庁日の設定により、教職員の適正な労働時間の管理及びワークライフバランスを推進し、働きやすい体制の整備を図ります。

また、教職員の出退勤管理を校務支援システムで行うなど、デジタルを活用した校務の改善・効率化（校務DX）を推進します。



出退勤管理システム

●外部人材の配置拡充

管理職（校長・副校长）や教員が、人材育成、児童・生徒対応や教材研究等、教職員の職務に専念できるよう、スクール・サポート・スタッフ、副校长補佐、部活動指導員、エデュケーション・アシスタント等の活用を推進し、教職員の負担軽減を図ります。

副校长補佐



●部活動の地域連携・地域移行の推進

国や東京都教育委員会が策定した「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」等を踏まえ、部活動の在り方を検討し、生徒が地域で運動・文化活動に親しめる持続可能な環境を整備していきます。

部活動の地域連携・地域移行検討委員会(令和6年度)



指標

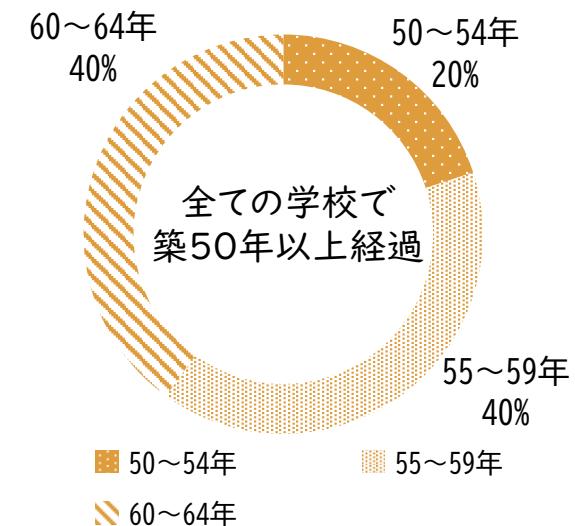
- ✓ 月当たりの時間外在校等時間が、45時間以内の教員数の増加
- ✓ ストレスチェックにおける健康リスクの減少

現状と課題

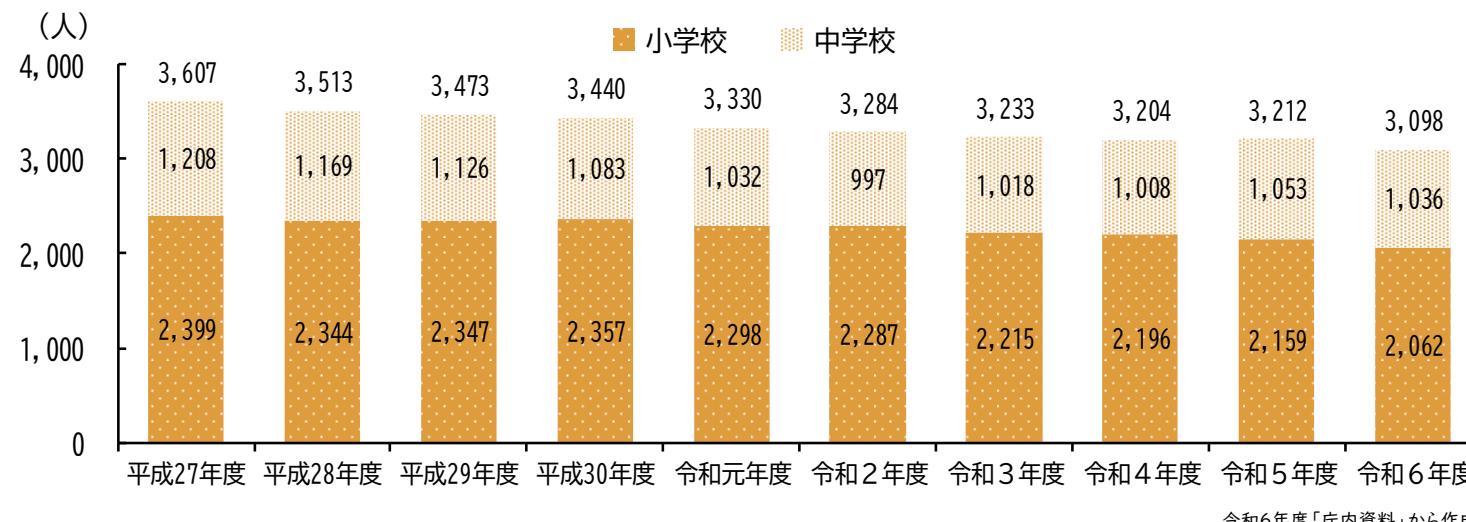
福生市立学校 校舎の築年数(令和6年現在)

学校名	福生一小	福生二小	福生三小	福生四小	福生五小	福生六小	福生七小	福生一中	福生二中	福生三中
築年数 (目安)	62年	60年	59年	58年	56年	55年	51年	60年	60年	51年

各年度「事務報告書」から作成



福生市立小・中学校児童・生徒数の推移



- 令和2年度に策定した「福生市個別施設計画」により、施設の目標使用年数を築65年と設定しています。各校の校舎は、必要に応じて増改築を繰り返していますが、開校当初に建設した本校舎については、全ての学校で築50年以上を経過しており、長寿命化を含め対応が必要な状況にあります。

強化のポイント

- 市内小・中学校の安全・安心な教育環境の確保及び災害時の避難所としての機能充実等を着実に推進
- 学校の日常的なICT活用を支える環境の着実な整備、学びの変化や校務効率化を考慮したICT環境の検討

安全・安心な施設環境の整備・充実



主な取組

●学校施設・設備の適切な維持管理等の実施

老朽化した校舎等について、令和2年度に策定した「福生市個別施設計画」に基づき、劣化診断調査を行い、早期に大規模な長寿命化改修等の対策を行い、当面は施設を維持していきます。長寿命化改修や改築は、調査、設計、工事、改築と数年にわたる事業となることから、児童・生徒等への影響を最小限に留めるよう、計画的に進めています。

改修や改築時には、環境負荷低減や災害対応等を考慮した設備の充実を図るとともに、施設のバリアフリー化を進めます。

また、各校に配置している用務職員により、日常的な施設点検や維持管理を行い、児童・生徒をはじめ、利用する全ての人にとって、安全で快適な学校施設・設備となるよう、状況に応じて適切な方策を講じていきます。



築60年を越える福生第一小学校（上）
・福生第一中学校（下）

●夢のある市立学校の実現に向けた検討

市内には築年数が60年を超える学校があるなど、小・中学校の老朽化が進み、施設・設備の維持管理に係わる費用が増加しています。

今後は、児童・生徒数も大きく減少していくことが想定されることから、小・中学校の適正規模・適正配置について検討を行うとともに、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現できる、夢のある学校づくりに向けて取り組んでいきます。

教育の専門家や校長、コミュニティ・スクール委員などの地域の方と一緒に、取り組むべき方向性や内容について検討していきます。



文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告 別添1、2
(https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sise_tuki-000021509_3.pdf) より



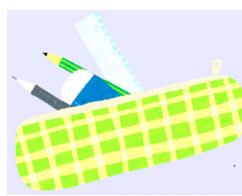
主な取組

●教育に係る保護者負担の軽減

就学援助・特別支援教育就学奨励制度を通じて、学用品や修学旅行費、卒業記念アルバム代など、児童・生徒の学校生活で必要な費用の一部を援助することで、一定の条件を満たす保護者への負担の軽減を図っています。

また、全児童・生徒を対象に補助教材の支給、修学旅行等補助金の交付のほか、物価高騰による保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費全額の公費負担を実施しています。

義務教育が円滑に等しく受けられるよう、制度の適正な運用を図ります。



●ICTを活用するための環境の整備

児童・生徒の学びの変化や教員の校務効率化など、学校の日常的なICTの活用を支える環境の整備を行います。



電子黒板の活用

●学校司書の配置等を通じた学校図書館の活用

学校図書館を円滑に運用するため、専任の司書を配置しています。蔵書管理のほか、環境整備、読書活動支援、調べ学習や授業支援を行っています。

学校図書館は、子どもたちが一番身近に本に触れることができる場であるから、授業等と連携した更なる読書活動を推進します。

また、福生市立図書館と連携し、電子図書活用の推進を図ります。



●備品配備による学習環境の確保

市内小・中学校の運営や授業に必要な備品の新規配備や更新等、状況に応じて対応しています。

適切な学習環境確保のため、優先順位の精査等、計画的・安定的な配備を行っていきます。



配備したピアノを活用した活動



主な取組

●児童・生徒の安全を守るための設備の設置

学校の正門等に電磁式電気錠を設置し、来校者の出入りを管理するとともに、通学路や校舎に設置した防犯カメラにより、状況の確認・把握に努めています。



今後も、専門事業者による保守点検を行うとともに、設置から5年以上経過する学校の防犯カメラの更新等を行い、児童・生徒の更なる安全確保に取り組みます。

●青色防犯パトロールの実施

児童・生徒の登下校中、不審者情報等を確認した場合、市教育委員会職員が青色回転灯を搭載した公用車で防犯パトロールを実施しています。



今後も市内に点在する市教育委員会の部署と連携し、事案が発生した地区を重点的に行うなど、効果的なパトロールを実施していきます。

指標

- ✓ 教員が指導に使用する端末と校務に使用する端末の1台化の実現
- ✓ 見守り員の配置により、児童の通学が安全になったと思う保護者の割合の増加

●適時・適所な通学路見守り員の配置

通学路「見守り事業委託」により、適切な人員を確保し、事前に各小学校と委託業者間との十分な調整を図ることで、通学路の安全確保に取り組んでいます。



今後も、見守り事業を継続することで、適時かつ適所な人員配置を行い、更なる児童の安全確保の充実に向けて取り組みます。

●食物アレルギー対応給食の実施

食物アレルギー対応給食は、通常給食から特定原材料8品目を全て除去又は代替して提供しています。通常給食棟と分離したアレルギー専用棟で調理することで、アレルゲン食材の混入を防止します。



アレルギー対応給食調理の様子